

春らんまん 創美流華道展



創美流華道の第九十三回華道展・第二十六回いけばな審査会(東京新聞など後援)が二十一日、東久留米市前沢五の華道会館で行われた。春の花材を使った作品を中心に五十点余を展示した＝写真。

審査会では、大学生以下の若手に贈られる東京新聞賞に東村山市の中学三年、佐藤瀬千(千弥)さん(五)

が選ばれた。ピンクと黄色のチューリップや紫色のフリージアを配し「色が一カ所に固まらないように生け、春の華やかさを表現しました」と話した。新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、例年は二日間の日程を一日に短縮し、一般客の案内も見合わせた。展示作品の動画を四月中旬ごろ創美流のホームページで公開する。